

施工・保管上の注意点

【塗装面の調整(新設)】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④打放しコンクリート面は、できる限り均質・均一な面であることが望ましく、巣穴、ジャンカがないことが理想ですが、補修する場合は躯体と同色で吸込みが同程度のセメントペースト、モルタルで補修して下さい。
- ⑤目印にはコンクリートの表面を汚す墨だし、傷をつけるケガキは避け、コンクリート面に跡が残らないものを使用して下さい。
- ⑥屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ⑦使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- ⑧ばり、突出し部分、木繊維などの除去には、周りを傷つけやすいディスクサンダーを使用せず、タガネではつり取って下さい。
- ⑨離型剤、油脂等が付着している場合、シンナーで拭き取って下さい。
- ⑩破損部分、亀裂部分、巣穴はモルタル又はセメントノロで補修して下さい。この時、補修面がそのまま現われますので、できるだけ色を合わせて補修して下さい。
- ⑪エフロ(白華)、レイタンスは、ワイヤーブラシ、サンドペーパー、サンダー等でけずり落として下さい。又、エフロが固着して除去するのが困難な場合には、予め表面に散水して飽水にしてから0.1N程度の稀塩酸を布に湿し、表面を軽く拭き、ただちに水洗いをして下さい。酸洗いをする場合は梅雨期等の湿気の高い時期は控えて下さい。
- ⑫欠損部分がひどい場合は、ポリマーセメント比5%以下の補修材による処置を施して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③コンフィックスSM-7、SM-7Pは危険物ですので、火気や換気に充分注意して下さい。

【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。
- ③コンフィックスSM-7、SM-7Pは、希釈しないで使用して下さい。
- ④塗付けは必ず2回塗りまたは下地の状況(ALC、軽量コンクリートブロックなど吸込みが著しい場合等)によっては、3回塗りして下さい。塗布量は下地の種類によって工程表の標準値よりも増えることがあります。

- ⑤新しいコンクリート、モルタル面は、夏期1週間、冬期2週間以上放置乾燥後塗布して下さい。下地に水分があると浸透を阻害しますので十分に下地を乾燥させてから塗布して下さい。
 - ⑥材料は付着乾燥しますと取れませんので、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。
 - ⑦乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
 - ⑧コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
 - ⑨下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、剥離等の生じる原因となります。
 - ⑩施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
 - ⑪本施工に入る前に試験塗りをを行い、塗布量を確認して下さい。
 - ⑫常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
 - ⑬安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
 - ⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
 - ⑮塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
 - ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- 【安全衛生上の注意】
- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 - ②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
 - ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
 - ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
 - ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
 - ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ①塗布用具や容器は清浄で、乾燥したものを使用して下さい。また、用具の洗浄は、ラッカーシンナーでして下さい。
 - ②ガラス、プラスチック、金属及び木材には養生して下さい。これらに付着したコンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pを除去する場合は、ラッカーシンナーを使用して下さい。
 - ③その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
 - ④施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。
 - ⑤施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

コンフィックス

SM-7/SM-7P

シラン系浸透性吸水防止材



包装単位

コンフィックスSM-7 12kg缶
 コンフィックスSM-7P..... 12kg缶

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(24.6月現在) 24.06.200 SJ

コンフィックス

SM-7/SM-7P

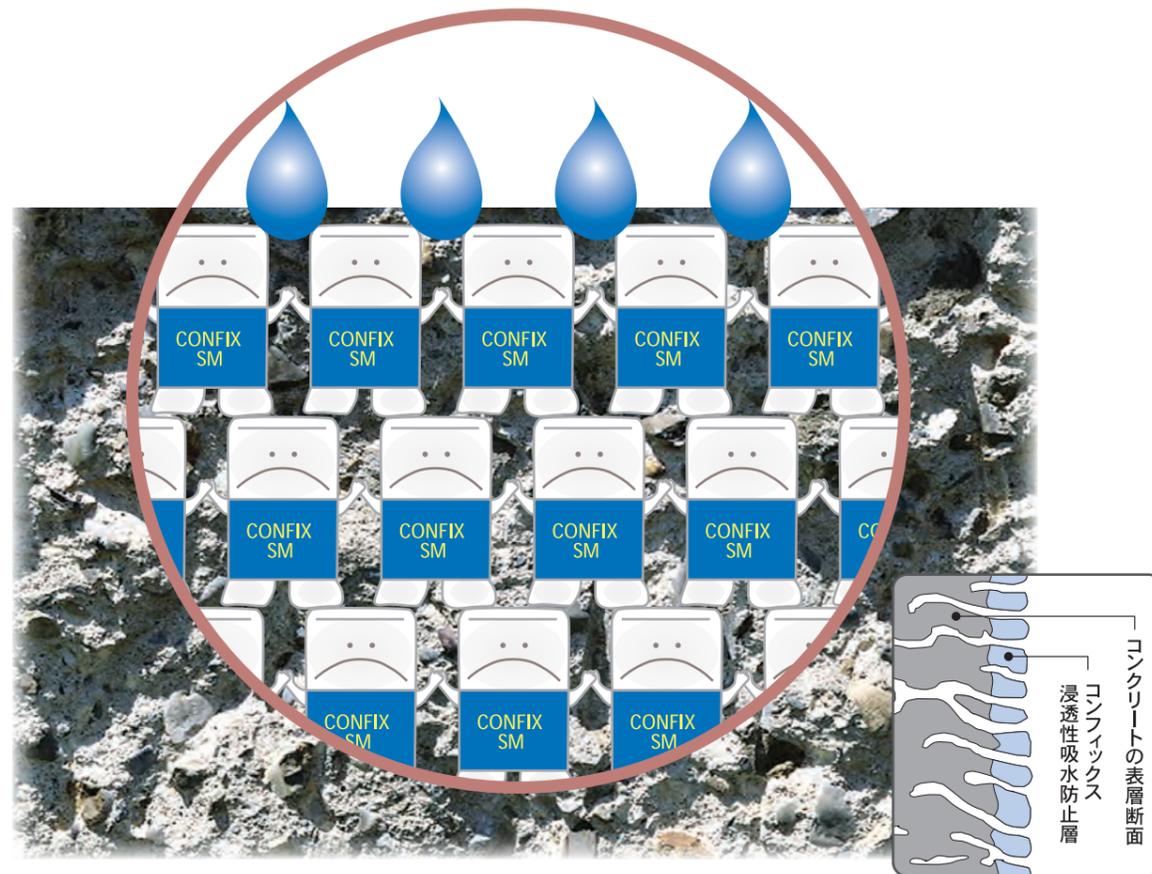
シラン系浸透性吸水防止材

分子のスクラムが水の浸水をシャットアウト

丈夫で長持ち—と呼ばれるコンクリート建造物も、内部に多くの毛細管空隙が存在し、水分・塩分による浸食作用や塩害などの影響を受けやすい一面があります。

コンフィックスSM-7はいつでも、美しく頑健に。コンクリートを守るため、躯体に深く浸透し、水の浸入を防ぐ画期的な保護材です。

塗布面をそのまま露出する場合はコンフィックスSM-7、各種仕上材を施工する場合やタイルの目地に施工する場合はコンフィックスSM-7Pをご使用下さい。



施工方法

材料	工程	処置	所要量 (kg/m ²)	塗回数	塗り重ね時間
—	下地の清掃・乾燥	塵埃、油、エフロレッセンス、レイトランスなどを除去する。表面は乾燥させる。	—	—	—
コンフィックスSM-7 塗料・塗材仕上げの場合は コンフィックスSM-7Pを 使用する。	塗布	吹付け、ハケ塗り または、ローラー塗り	一般の場合 0.3~0.4	2	1時間以上
			吸込みの大きい下地 の場合 0.5~0.6	3	

※吹付けの場合は、吹付け圧1~2kgf/cm²で、ノズルをできるだけ被塗面に近づけて塗布して下さい。

水一劣化防止

劣化の大きな要因は、雨雪など大気中から浸入してくる水分・塩分です。コンフィックスSM-7の吸水防止層は、雨水の浸入を防ぎ、躯体内部の水分も放出します。



10Åの浸透力

一般にコンクリートの空隙は、数10Å~数1000Å(1Å=100万分の1mm)のおおきさといわれます。対してコンフィックスSM-7の分子直径はわずか10Å。表面張力も小さいため、すばやく躯体深部に浸透します。



モルタル下地への浸透効果

効果の持続性

深く浸透したコンフィックスSM-7は、躯体成分と化学結合し強固な吸水防止層を形成します。紫外線、塩分有害物質などの影響を受けにくく、安定した効果を長期間にわたって発揮することができます。

10年経過後のコンクリート



SM-7塗布
劣化が少なく、健全である

無塗布
劣化が著しく、スレーキングを起している

作業はサッと!!

低粘度の液体だから、コンフィックスSM-7の施工方法はとても簡単。

ハケ、ローラー塗り、スプレーが可能です。



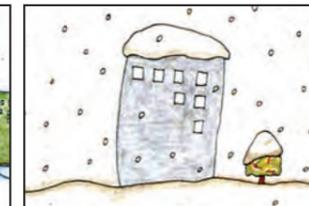
用途

塩害防止



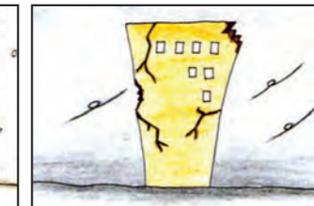
- 海浜地域
- ・コンクリート建築物
- ・港湾施設
- ・鉄道・道路の橋脚、桁など

凍害防止



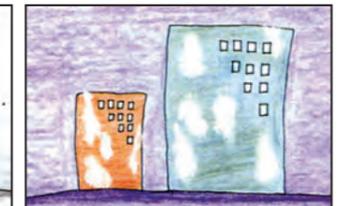
- 寒冷地域
- ・コンクリート建築物
- ・ダム、堤防
- ・鉄道・道路の橋脚、桁など

劣化防止



- 一般建築物
- ・コンクリート建築物
- ・コンクリート二次製品

白華・汚染抑制



- 一般建築物
- ・コンクリート建築物
- ・コンクリート二次製品など

適応下地

現場打ちコンクリート PC ALC コンクリートブロック モルタル
石綿スレート れんが セメント2次製品 各種成形体 石材(大谷石等)